



JREU TOKYO 業務部速報



2023.10.23 No.012

発行：J R東労組東京地本 業務部

田端統括センター発足から約5か月 施策検証の視点をもって 再度交渉での確認事項を見つめなおそう！

10項 尾久駅操車業務の養成スケジュールを示すこと。

- 新入社員については3か月間の見習いを行っていたが、田端運転所の社員については短くなることが想定される。しかし、個人の習熟度はチェックシートなどを活用して把握していく。
- わからないことや不安なことは言い出しやすい風土を創り出していく。

11項 駅業務の見習いは連続して行い、業務の習熟に努めること。

13項 尾久駅の操車担当養成は十分な期間を設け、本人の業務習得状況に応じ適切な見極めを行い業務に就かせること。

18項 田端運転所社員が融合行路や駅業務の見習いに就く際の社員の指定については、本人の業務状況や適性を判断したうえで行うこと。

会社：田端運転所のライフサイクルからの復帰者や転換の見習い者等については、乗務が最優先。(一本前に操車や他駅の見習いに入ることは想定していない。)養成と平行した駅業務見習いは行わない。一方で運転士の融合行路は全運転士が担えるように見習いは行う。

- (駅社員・運転士問わず)見習いは必ず何徹という画一的なものではない。
- 安全と業務習熟度の向上を最優先とするために、基本的には他の業務には従事しない(平行させないで)で行っていく。
- どのくらい業務を行ったか、業務を習得したかの把握はチェックシートも活用し、社員とコミュニケーションを取りながら行っていく。

14項 技量維持の観点から、尾久駅で操車業務が行える社員については、定期的に操車業務に就かせること。

- (技量維持の観点からも)社員が定期的に操車業務を行うことは重要である。

15項 項本人が駅業務を習熟したと納得するまでは、本務での勤務扱いは行わないこと。

本人が(一本に対して)不安と申告があれば、何が不安なのかしっかりコミュニケーションをとって把握し、必要な教育を実施していく。基本的には、見極めを行い、副長や教導(先生)と相談したうえで判断する。



皆さんの不安や疑問は置き去りにされていませんか？
職場にはあきらめ感が蔓延していませんか？



誰もが働きやすい職場環境・風土を作りだしていきましょう！